

研修プログラム弾力化により考えられる研修プログラムの例①

1. 現在と同様の研修プログラム

1年目

2年目

内科 6月	外科3月	救急3月	麻酔科 1月	産婦人科 1月	小児科 1月	精神科 1月	地域医療 1月	選択科目 7月 * あらかじめ研修病院が 選択肢を設定する
-------	------	------	-----------	------------	-----------	-----------	------------	---

2. 2年目に将来専門とする診療科で研修を行う研修プログラム

1年目

2年目

内科 6月	救急3月	選択必修 3月 (2科目で3月)	地域医療 1月	将来専門とする診療科を中心に 関連の診療科での研修 11月 * あらかじめ研修病院が 選択肢を設定する
-------	------	------------------------	------------	---

研修プログラム弾力化により考えられる研修プログラムの例②

3. 研修開始時から将来専門とする診療科(例えば外科)で研修を行う研修プログラム

1年目			2年目		
(例)外科 3月	内科 6月	救急3月	地 域 医 療 1 月	(例)麻酔科 3月	(例)外科 8月

4. 選択必修の科目や地域医療を重点的に実施する研修プログラム

1年目			2年目		
内科 6月	救急3月	選択必修 3月 (1科目で3月)	選択必修 3月 (1科目で3月)	地域医療 3月	選択科目6月 * あらかじめ研修病院が 選択肢を設定する